

拜殿が県内では珍しい茅葺きの夜都岐神社 天理市乙木町で



やまとの  
神さま

(住所) 天理市乙木町765  
(祭神) 武甕槌命、経津主命、天  
児屋根命、日売大御神  
(交通) JR・近鉄天理駅から桜井

駅行きバスで乙木口下車。  
東に徒歩約15分  
(拝観) 境内自由  
(駐車場) なし

夜都岐神社は平安時代の「延喜式神名帳」に

### 夜都岐神社 (天理市)

「岐」ではなく「伎」の「夜都伎神社」と記載されており、現在でも、こう書く資料もあります。元々、天理市乙木町には、夜都岐神社と春日神社があり、江戸時代中ごろに夜都岐神社がなくな



って春日神社のみが残りに変更されました。

乙木地区は鎌倉時代初期には春日大社と興福寺大乗院の荘園だったため、春日神社には春日大社の祭神・武甕槌命など4柱が勧請されました。また、ハスで作った蓮の御供を明治維新まで春日大社に供えていた縁

で、春日大社の造替で古い社殿などをもらい受け、西暦1848(嘉永元年)に春日大社の摂社・若宮神社から移されたものです。拜殿は入母屋造り(上部は切妻屋根、下部は前後左右に勾配がある寄棟造り)で、県内でも珍

しい茅葺きです。2015年に30年ぶりに屋根が葺き替えられました。春日造り(切妻屋根で、棟と直角な面に入り口がある様式)の本殿は22年にそれまでの桧皮葺きから銅板葺きに新調されました。天理、桜井両市を結び、日本書紀に登場する「山の辺の道」沿いに神社はあり、ハイキング途中に訪れる人も見られます。(奈良まほろばソムリエの会会員 久門たつお)

## 春日大社と深い縁

の会会員 久門たつお